

議会報告会報告書

令和5年2月27日

大竹市議会

議長 賀屋 幸治 様

C班

班長 小中 真樹雄

議会報告会の実施状況について、次のとおり報告します。

1 開催日時

令和5年2月7日（火） 19時から20時30分

2 開催場所

松ヶ原集会所

3 参加人数

4人

4 担当班議員名

班長 小中 真樹雄

副班長 細川 雅子

班員 日域 究

網谷 芳孝

北地 範久

5 報告会次第

(1) 開会あいさつ

(2) 議会からの報告

① 上下水道料金の改定について

② 議員定数について

(3) 意見交換

① 耕作放棄地の利用促進と地域の活性化について

(4) その他のご意見

(5) 閉会あいさつ

6 議会からの報告についての主な質疑応答

(回答した質疑)

Q：修正案で、個人用の負担が増え、業務用が安くなったのはどうしてか。

A：事務所で飲み水しか使わなくても、家事用との差がありすぎため、その格差を是正するため、県からの1000万円を利用しようとするもの。それでも家事用の方が安くなっている。

Q：家事用を調整しなければならない訳が分からない。料金体系がよくわからない。個人用がふえて、業務用が少なくなるのはいかがか。

A：業務用が下がって個人用が増えることですが使用量の少ない人への配慮です。

Q：水はどこからきているか。

A：小瀬川、防鹿の水源地から三ツ石調整池を經由し配水している。また、県用水として弥栄ダムから県の三ツ石浄水場を經由して小方の一部や玖波、松ヶ原地区へ配水しているものもある。

Q：上水は下がっているのに、下水は上がっているのはどうしてか。

A：使っていないのに取られる分を見直そうというもの。最終的には業務用と一般用の料金体系を統一するための経過措置です。

(意見・要望等)

- ・定数削減でも少数の反対意見の尊重が大事ではないか。

7 主な意見交換 「耕作放棄地の利用促進と地域の活性化について」

- ・耕作率は5割前後ではないかと思う、放棄地に入っていないけれども、耕作地の減少は危機的なものがある。農地に関する座談会をすればという話があり、20人程度が参加し意見交換をしたが、何がどうしたらいいかとなった、具体案が出ない。できることをやっつけていこうとなったが、いい知恵が出ない。果たして農地を維持することに意義があるのだろうかという意見もある。イノシシの柵の補助はある。利用しやすいメニューを行政に出してほしい。
- ・耕作放棄地防止のために松ヶ原にトラクター1台を配備してもらえれば。市役所が買って自治会に貸与してほしい。農地の荒廃防止に役立つ。
- ・1台持っても永久に使えるわけではない。新しく買おうと思うと150万円くらいかかる。投資する力がない。中山間地の農民にはほぼ収入がない。一式そろえるには1000万円ほどかかる。新しい人に来てもらうのは難しい。産業振興課からの呼びかけで討議したが、2度目の会議では市からは何ら提案らしきものがない。市に何をいっても期待できないと諦めのムードがある。何か議会に期待できるのかという気分がある。
- ・皆さんが松ヶ原のことをどのくらい知っているか。肌で感じる行動をとっていただけるか。災害での陥没道路がまだ通れないので合併浄化槽の清掃ができない。やっとな計画を示してもらった。松ヶ原地区は議員が出せず弱いところ。少しでも気にかけてくれる人がいて中山間地のことを考えてくれれば。

議員：地元で議員がいなくても話がくれば、そこからあとはできるので、だれでもいいから、ぜひ見てくれやと声をかけてくれればありがたい。トラクターの件は具体的で参考になる。

議員：市との話し合いに集まった人の内訳は。

住民：農家が10人、女性も含めて計20人くらい。じゃあどうするかといえば、それから先に進まない。野菜作りにもトラクターは必要。トラクターがあれば、入れる道は8割ぐらいある。人を呼び込むためにはやりやすい環境づくりにトラクターは必要。

住民：廿日市市はJAにトラクターの補助金を提供しているので、レンタルできる。高齢化で個人的な設備の買い入れは難しいし、体調の面もある。放棄地が増えるばかり。今後、こぶしの里に出せる野菜ができるか。気力はあっても体力が続くのかというのが現実。

議員：空き家に若い人に来てもらえるような声はないか。

住民：農業やりたい人を探して応募しても、農業機械がなければどうにもならない。来てもらうことはできない。市が活用できる方策を考えてほしい。

住民：路線バスについても、市の方から前向きな提案がほしい。

議員：路線バスかデマンド交通がいいのかななどの問題もある。

(要望・意見)

- ・油見在住で畑を借りて野菜を作っている。農業に興味があるが、新規就農について、貸す側と借りる側の窓口がよくわからない。ハードルが高いのではないかと。機械を購入してもらえれば、ぜひ借りたい。耕作放棄地解消に協力したい。
- ・耕作放棄地の件については、地域の美観を損ねかねない。行政が放棄地をかりて、機械をそろえてやると、景観はよくなる。作付けは鳥獣被害を受けないものを。松ヶ原は飛び地扱いになっている。空き家25軒のうち、13軒は使える。更地にすればお金がかかるし、なぜ売れないか、行政と一緒にやっていく。高齢化率は58%で限界集落。人は減るばかり。住みよいまちといいながら人口は減っている。大竹市全体を考えていないから。選挙の時だけでなく平常から行脚を。
- ・テーマは適切ではないか。議会で取り組んでくれるのはありがたい。

8 気付きや反省点

- ・選挙の前になって「やっている感を出そうとしているのではないかと」の率直な意見もあり肝に銘じるべきだ。
- ・終了後、報告会は夜ではなく、昼の方が出やすいとの意見をいただいた。